琉球新報　2013年(平成25年)7月31日　水曜日　23面　【社会】　掲載

かぎやで風を安倍首相に披露する豆記者＝30日、首相官邸

沖縄の問題解決へ全力

首相、豆記者に「約束」

【東京】沖縄の小中学生50人で結成した第52次沖縄豆記者団（団長・川満茂雄沖縄県豆記者交換会会長）は30日、首相官邸に安倍晋三首相を訪ね、沖縄の歌や踊りを披露した。豆記者を代表して昭和薬科大学付属中学3年の石川美咲生さん(14)が「戦後68年たっても変わらない沖縄の米軍基地問題や失業率の高さ、学力格差などさまざまな問題に向き合い、解決に向けて取り組む力を身に付けたい」とあいさつした。

安倍首相は「沖縄だけでなく、さまざまな地域にさまざまな問題がある。解決に向け全力を尽くしていきたい」と述べた。石川さんは首相との面会後、記者団の取材に応じ「米軍機の騒音で耳をふさいで逃げる子どももいるので基地はなくしてほしい。オスプレイも撤退させてほしい。私たち子どもでもできることはあるはずだ」と話した。

豆記者団は「ていんさぐぬ花」の合唱で安倍首相を出迎えた。その後、高良小学校5年の宮城愛菜さん(10)と、小禄中学校3年の宮城菜摘さん(14)が琉球舞踊の「かぎやで風」を披露した。